

ひまわりだより

No.306

2023年11月



巾上ひまわり薬局 松本市巾上10-5 TEL 0263-35-4441

FAX 0263-37-5561

塩尻ひまわり薬局 塩尻市長畝230-3 TEL 0263-51-5311

FAX 0263-51-5322

定休日 日曜・祝日

日に日に寒さが増し、カゼの患者さんが増えています。
楽しい年末年始に備えて、用心しましょう。



皆さんは薬局でよく見聞きするけど意味が分からない言葉や、気になる記号ってありませんか？今回は、薬局でよく使う言葉や、薬に付いている記号についていくつかご紹介します。

・ヒート と 一包化

ヒートはお薬が入ったシートのことです。セロファンなどにシールして錠剤を入れた SP 包装 (strip package) と、錠剤を押し出せるようにプラスチックとアルミで包んである PTP 包装 (press through package) があります。



©DESIGNALIVE



一包化は一回に飲む分のお薬をまとめて、分包機を使ってパックすることです。“朝食後”など飲むタイミングを印刷して飲み間違いを防いだり、手が不自由でヒートからお薬を取り出しにくい場合にも適しています。一包化する

方の処方箋には“一包化”や“全処方一括分包”と記載されています。私達は一包化＝one dose package の頭文字で“オーディーピー”や、“ワンドーズ”とも言います。

・ドライシロップ

水などに溶かして飲むことができる粉薬のことで、小児科のお薬でよくあります。液体のお薬に比べて持ち運びに便利だし、1回分ずつパックしてお渡しするので、測り取る手間もありません。処方箋にはお薬の名前のあとに「○○○シロップ用」とか、「○○○DS」と記載してあります。

・OD錠 または D錠

orally（口）disintegrating（崩壊）の頭文字で、口腔内崩壊錠といって、口の中の唾液や少量の水で溶けて飲める錠剤のことです。飲み込む力が弱った方にも飲みやすく、また、溶かして経管栄養チューブがからも入れやすいという利点があります。お薬の名前のあとに「○○○OD錠」とか、「○○○D錠」

とついている薬がコレです。

・チュアブル

嚙んで飲むことができる錠剤です。**OD錠**は唾液で溶けますが、**チュアブル**は嚙み砕く必要があります。大きくてそのままでは飲みこみにくい錠剤によく使われています。

次は、お薬の名前に付いた記号の意味をいくつかご紹介しましょう。こちらは、各製薬メーカー独自のもので、全体に共通した記号ではありません。

・**アダラート CR®**の **CR** → Controlled Release=放出を調節した

・**ニフェジピン L**の **L** → Long Acting=長く効く
どちらもお薬が効く時間をあらわしています。

・リンデロン VG 軟膏®の VG

→Vはベタメタゾンというステロイド薬、
Gはゲンタマイシンという抗生物質の頭文字
お薬の中身がわかりますね。



・ロサルヒドLDのLD と ロサルヒドHDのHD

→Low Dose(少ない量)と High Dose(多い量)
成分は同じだけど、量の違いをあらわしています。

最後にお薬の名前の由来をひとつ、製薬会社さんに教えてもらいました。

・つくしAM散® (消化健胃薬)

Aは“一番”という意味の“Ace”の頭文字、Mはドイツ語で“消化健胃薬”という意味の“Magen Mittel”の頭文字で、一番良い胃薬という思いが込められた名前だそうです。

“つくし”も気になって聞いてみました。これは、以前のこの製薬会社の会社のマークにつくしの絵が使われていたからだそうです。(今は違うマークに変わっています。)植物の“つくし”はお薬に入っていない。



お薬をお渡しする際の説明は、分かりやすくと努めていますが、気づかないうちに皆さんにとって分かりにくい言葉を使っていることがあるかもしれません。そういう時には教えて下さい。よろしくお願いします。



❖❖ ひまわり薬局ではホームページも開設しています ❖❖

<http://www.himawari-ph.nagano.jp/>

こちらも是非、ご覧ください 😊